

フレスコの出店 パチンコキングの新設は 千本中立売界隈の住環境に大きな影響を及ぼします



この問題への対応をもとに、住み続けられる地域づくりについて
ご一緒に考えましょう。



フレスコの出店ー 駐輪、交通問題も心配です



7月8日に開かれたフレスコ建設説明会では、建物の概要は、高さ約10メートル（2階建）、売り場面積約300㎡、駐輪台数18台であること、開店時期は10月初旬、営業時間は午前9時から午後10時の予定であることなどがフレスコ側からは報告されました。

参加者からは「お惣菜などもつくるのであれば、臭いがまわりにもれないのか」「音は大丈夫か」などの住環境問題とともに、「駐輪場は18台で大丈夫か。通行のじゃまになるようでは危ない」と交通問題に対する意見が出されました。

これに対しフレスコ経営者側は「臭いも音も出ない。駐輪整備は開店時には整備員を配置し、常時は従業員で対応する」と回答しました。

駐輪問題は、通学路の安全問題にも関わることであり、問題が生じないよう整備員の常時配置も含めた対策が必要ではないでしょうか。

パチンコキングの新設ー 住環境への影響は？



パチンコ店の新設があいつぐ中、平成23年10月着工予定でパチンコキング千本東店が、新設される計画です。

この新設について、近隣住民から「住宅との間が接近しすぎる」など、住環境への影響を心配する声が寄せられています。

京都市は、商業施設と住民が協議してまちづくりをすすめるための方針「京都市土地利用の調整に係るまちづくり条例」を示し、ガイドプランを定めています。ここには事業者に対して「住民への周知（住民説明会等の開催）と説明会の状況報告（開発事業者から市長に報告）」の義務付けを定めています。これは土地面積1000㎡以上でない対象にならないなどの制限もあります。

住環境を守る為には、事前の影響調査を行い必要な対策をとること、建設以降も問題が生じた際の対処に対する協定を、事業者と住民が結んでおくことが大切です。

**これらの問題へのみなさんのお考え、思い、不安、疑問など、ぜひお寄せください。
ご一緒に解決していきましょう。**

上京民報

発行：日本共産党京都北地区委員会
京都市北区紫野雲林院町78
TEL 075(432)3261

2011年8月号外

日本共産党京都北地区委員会は上記の見解を発表しました。

日本共産党上京区生活相談所
電話：075(813)2117